



西小だより

5月号

令和8年5月1日

◆子どもたちの未来を支える本物の力◆

新緑がまぶしい季節となりました。4月は新しい出会いの中で、子どもたちは少しずつ学校生活に慣れ、落ち着いた日々を送ることができるようになってきました。特に今年度のスタートである4月は、「にこにこプロジェクト」の取組として「あいさつ」を重点目標に掲げてまいりましたが、校内外で交わされる気持ちのよいあいさつが増え、学校全体に温かな雰囲気広がってきています。



さて、5月の重点目標は「先生や友達の話をお聴（聞）こう」です。

聴くとは、耳で言葉を受け止め、目で相手の様子を見て、心で思いを受け取ることです。この姿勢こそが、相手を大切にすることの第一歩であり、安心して関われる関係づくりの基盤となります。



当たり前を当たり前でできる力こそ、子どもたちの未来を支える本物の力です。

なぜなら、子どもたちの成長や学びは、特別な出来事によってではなく、日々の小さな行動の積み重ねによって形づくられるからです。一つ一つの行動が環境を整え、人との関係を育て、その上に安心が生まれます。そして、安心して過ごせる土台があつてこそ、学びは深まり、確かな力となっていきます。

本校では、今年度、以下の6つの行動を大切にしています。

「あいさつをしよう」「先生や友達の話をお聴（聞）こう」「廊下の右側を歩こう」
「優しい言葉を使おう（ふわふわ言葉を使おう）」「時間を守ろう」「整理整頓をしよう（履き物を揃えよう）」

これらは特別なことではありません。しかし、一人一人が意識し、積み重ねていくことで、学校には落ち着きが生まれ、互いを尊重し合う関係が育ちます。例えば、履き物が揃う学校には心の落ち着きがあり、優しい言葉が交わされる学校には相手を思う温かさがあります。こうした日々の姿こそが、子どもたちの確かな成長の証です。

さらに、この6つの行動は、子どもたちだけでなく、子どもたちのロールモデルである私たち教職員にとっても大切な行動です。私たち自身が日々の姿で示すことを胸にとめ、子どもたちとともに実践してまいります。

ご家庭や地域におかれましても、今年度大切にしたい6つの行動や、子どもたちの小さな変化や成長を温かく見守り、認めていただければと思います。

校長 檜 室 豊

[学校教育目標]

すべての子どもたちが主体的に学び続け 人間性豊かに生きる子どもの育成

進んで学ぶ子ども

たくましい子ども

思いやりのある子ども

参観日・PTA総会



4月21日(火)に参観日、PTA総会、学級懇談会を実施しました。PTA総会には、68名の保護者の方々の出席がありました。議案の審議とともに、田布施西小学校で大切にしている、児童の望ましい行動に目を向け、価値付けながら増やしていく「ポジティブ行動支援」の取組について動画等で紹介しました。授業参観では、お家の方の参観を喜び、張り切って発表する児童、集中して学習に取り組む児童の様子が印象的でした。

PTA総会、授業参観、学級懇談会と、多くのご参加ありがとうございました。

24の日(にしの日)



4月24日(金)、今年度初めての24(にし)の日がありました。児童、保護者、地域の方、教職員であいさつ運動を行いました。たくさんの方にご参加いただき、気持ちのよい自分なりのあいさつを交わすことができました。あいさつ運動の後には、朝学習の時間「フリートーク」に、地域の方々にも参加していただきました。テーマに沿って、地域の方や友だちと考えを交流する機会を子どもたちは楽しんでいるようでした。24(にし)の日の朝学習は、各学級でフリートークを行いますので、ぜひ、ご参加ください。今年度も皆様のご協力をいただきながら、豊かに関わり、気持ちのよいあいさつが溢れる学校をめざしていきたいと思っております。どうぞ、お気軽にご参加ください。お待ちしております。

望ましい行動を増やしていくために

田布施西小学校では、学校全体でポジティブ行動支援(SWPBS)に取り組んでいます。ポジティブ行動支援とは、子どものポジティブな(望ましい)行動をポジティブな方法(促す、教える、価値づける)で増やしていく支援を学校全体で行っていくものです。保護者の皆様や地域の方々と一緒に取り組んでいきたいと考えています。取組の様子は、西地区全戸配布のSWPBS日より(毎月1回発行)でもお知らせしていきます。